

1 課:青年ヨセフの体験

(創世記 40:1~20)

ふたりは彼に答えた。「私たちは夢を見たが、それを解き明かす人がいない。」ヨセフは彼らに言った。「それを解き明かすことは、神のなさることではありませんか。さあ、それを私に話してください。」

1.世の中に出て行く前に必ずそろえなくてはいけないことが
実際の霊的力です

- (1)ヨセフは神様がともにおられる夢を見ました (創 37:1~11)
- (2)ヨセフは神様がともにおられる働きを見ました (創 39:1~6)
- (3)ヨセフは神様がともにおられる規律を体験しました (創 39:7~23)

2.その時刻表は事件とできごとを通してきます

- (1)ポティファルの妻の失敗も時刻表でした
- (2)ヨセフが着せられた濡れ衣も時刻表でした
- (3)監獄での出会いも時刻表でした
- (4)ヨセフを忘れた長官も時刻表でした
- (5)ヨセフの年齢も時刻表でした

3.神様は完ぺきな計画を持っておられます

- (1)王の夢、長官の夢、ヨセフが夢を解釈するようにされました
- (2)ヨセフは総理になりました (創 41:38)
- (3)ヨセフは世界を生きしました (創 45:1~5)

2 課:青年ダビデの体験

(I サムエル 18:6-9)

ダビデがあのかのペリシテ人を打って帰って来たとき、みなが戻ったが、女たちはイスラエルのすべての町々から出て来て、タンバリン、喜びの歌、三弦の琴をもって、歌い、喜び踊りながら、サウル王を迎えた。女たちは、笑いながら、くり返してこう歌った。「サウルは千を打ち、ダビデは万を打った。」サウルは、このことばを聞いて、非常に怒り、不満に思ってしまった。「ダビデには万を当て、私には千を当てた。彼にないのは王位だけだ。」その日以来、サウルはダビデを疑いの目で見えるようになった。

1.世の中に出て行く前に、世の中に勝つ力を持つのが最も重要な答えです

- (1)ダビデは正しい心と英知の手で仕事をしました (詩 78:71~72)
- (2)みことばの力を持たなければなりません
- (3)祈りの力を持たなければなりません
- (4)技能（学業）の力を持たなければなりません

2.時刻表は必ず来るために、この事実をのがしてはいけません

- (1)ダビデが主の霊に大きく感動しました (I サムエル 16:13)
- (2)ダビデが賛美するとき、サウルから悪霊が離れました (I サムエル 16:23)
- (3)ダビデがペリシテの将軍ゴリヤテを倒しました (I サムエル 17:1~47)

3.青年の時に苦難は貴重な準備をすることです

- (1)ダビデは主は自分の羊飼いだから乏しいことがないと告白しました
(詩 23:1~6)
- (2)ダビデはすべての会衆の前で主をほめたたえました (I 歴代 29:10~14)

3 課:青年エリシャの体験

(Ⅱ列王 6:16-17)

すると彼は、「恐れるな。私たちとともにいる者は、彼らとともにいる者よりも多いのだから」と言った。そして、エリシャは祈って主に願った。「どうぞ、彼の目を開いて、見えるようにしてください。」主がその若い者の目を開かれたので、彼が見ると、なんと、火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた。

1. 青年エリシャは世的に成功者でした

- (1) エリシャは十二くびきの牛とともにいました (Ⅰ列王 19:19~20)
- (2) エリシャには召命がありました (Ⅰ列王 19:20)
- (3) エリシャは牛の器具を燃やしました (Ⅰ列王 19:21)

2. 霊的にはより一層成功した人でした

- (1) ダビデと同じ信仰がありました (詩 103:20~22)
- (2) 霊的な目がありました
 - ① エリヤが天に昇る姿を見ました (Ⅱ列王 2:9~11)
 - ② 聖霊の働きがエリシャ上に留まりました (Ⅱ列王 2:14)
 - ③ 火の馬と火の戦車を見ました (Ⅱ列王 6:8~14)
- (3) アラム軍隊を防いで宣教をしました

3. エリシャの働きを、まさに青年が味わわなければなりません

- (1) 国を生かす働きをしました (Ⅱ列王 6:21)
- (2) 戦わないで敵に勝つ力がありました (Ⅱ列王 6:22)
- (3) 宣教する絶対的な答えを味わいました (Ⅱ列王 6:23)